

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りずむ			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～	令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21世帯	(回答者数)	20世帯
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 24日		～	令和7年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	・ 個々の希望を大事にして、こどもたちの「したい！」気持ちを尊重して活動しています。 ・ 基本的には集団活動ですが、こどもたちの様子を見ながら個別活動を実施したりしています。 ・ 各専門職がそれぞれ対応しています。	・ 今後も継続して取り組んでいきます。
2	・ 事業所のプログラムを固定化しない工夫をしている。	・ こどもたちの興味関心を多く引き出せるような声掛けをしています。 ・ 職員同士でこどもたちの様子を話し合いプログラムを立案しています。 ・ 子供たちの気持ちに寄り添い、共感しながら支援者も一緒に楽しんでいる。	・ 今後も継続して取り組んでいきます。
3	・ こどもたちが自己選択が出来る支援の工夫をし、自己決定する力を育てるための支援を行っている。	・ 常に児の意見を聞くように職員は意識をもって接しています。様々な場面で自己決定を行うよう支援するよう心掛けています。	・ 今後も継続して取り組んでいきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 非常時等の対応などの周知が出来ていない。	・ 非常時や安全管理などのマニュアルの作成や避難訓練等、事業所では行っているが保護者への周知の機会が少ないことが要因としてあげられる。	・ 今年より月報やSNSを活用し発信していく。
2	・ 家族の対応力の向上のために家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている事が周知出来ていない。	・ ペアレントトレーニングは実施していないため、家族支援プログラムをしていないと認識されている事が要因となっている。	・ 家族支援プログラムとして面談や個別対応で支援の仕方をお伝えしたり、必要な方には施設外の研修の案内をしている事を周知する。
3	父母の会の活動を支援することや、保護者同士で交流する機会を設けるために保護者会等を開催出来ていない。	・ 今年度は保護者会の開催は実施できていない。年間計画に入っていなかった事が要因となっている。	・ 来年度は1～2回の保護者会を計画している。また、その際に保護者の参加できる研修も計画している。